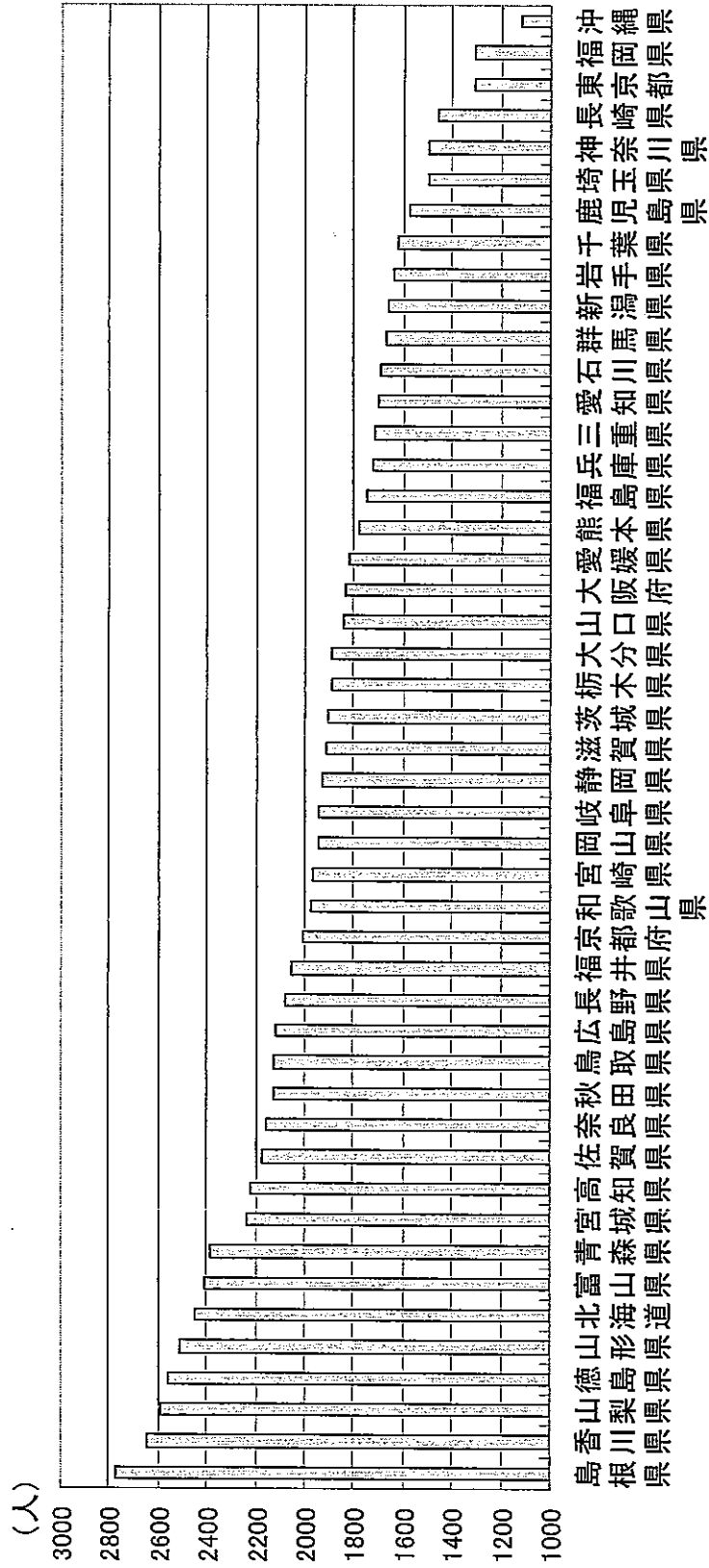


都道府県別にみた糖尿病の患者率(人口10万対)



参考：平成14年患者調査

「小児救急を含む小児医療」に係る保健医療提供体制の実現に関する国と都道府県の役割 <イメージ>

- 【 都道府県が医療計画において定める数値目標（例） 】
- ・ すべての日常医療圏内に二次小児救急医療の拠点を構築
 - ・ 24時間いつでも初期救急医療を受診できる体制を構築

☆全国共通の指標をもって把握した都道府県の「小児救急を含む小児医療」保健医療提供体制の実態をベースに当該都道府県において設定した今後推進すべき数値目標

☆医療体制の状況に応じた全国共通の指標を国が提示。

【 国 の 役 割 】

“家族の理解”

- ・ 応急手当講習受講率
- ・ 夜間の受診割合
- ・ かかりつけ医をもっている率

“医療従事者の状況”

- ・ 深夜帯の1拠点病院当たり小児科医師数
- ・ 非小児科医の小児救急への研修参加状況と研修実績
- ・ 小児科診療可能医師数（小児人口あたり）

“救急患者の実績”

- ・ 小児救急外来患者数（小児人口あたり）
- ・ 小児救急外来からの入院患者割合
- ・ 1次救急医療機関からの転送率

“救急医療の環境”

- ・ 相談窓口の整備状況（子どもの発症時の対応）
- ・ 小児救急患者受入医療機関数（小児人口あたり）
- ・ 15歳以下の死亡率

「医療提供体制の改革のビジョン」に基づく「小児救急を含む小児医療」の明示

【「小児救急を含む小児医療」に係る保健医療提供体制のビジョン】

- 子どもがいつでも適切な医療を受けられるよう小児救急医療体制をすべての日常医療圏に構築
- すべての地域をカバーした切れ目のない小児救急医療の構築
- 小児医療施設の役割分担と連携を推進し、小児科医師の適正な配置を図ること

住民（患者）が求める保健医療提供体制

- ・24時間安心しでかかれる医療機関の把握
- ・医療機関の機能が分かれやすいく把握できること

医療機関に今後求められる役割

- ・連携による切れ目のない保健・医療・福祉の提供
- ・患者に提供できる医療機能の明確な説明

国が目指すべき小児救急を含む小児医療提供体制

- ・小児救急医療体制をすべての日常医療圏に整備
- ・すべての地域をカバーした切れ目のない小児救急医療の構築
- ・小児医療施設の役割分担と連携を推進し、小児科医師の適正な配置を図ること

E県における「小児救急を含む小児医療」に関する保健医療提供体制の推進方策

1. 医療法に基づく制度的な支援（第5次医療法改正）

- ①小児救急を含む小児医療の拠点となる医療機関を日常医療圏ごとに指定できる方策の検討
- ②医療計画による小児救急医療ネットワーク（初期救急医療を含む。）の明示
- ③都道府県が認定する医療法人（民間）を中心とした保健医療福祉の提供グループの構築

2. 交付金・補助金等による財政的な支援（平成18年度実施）

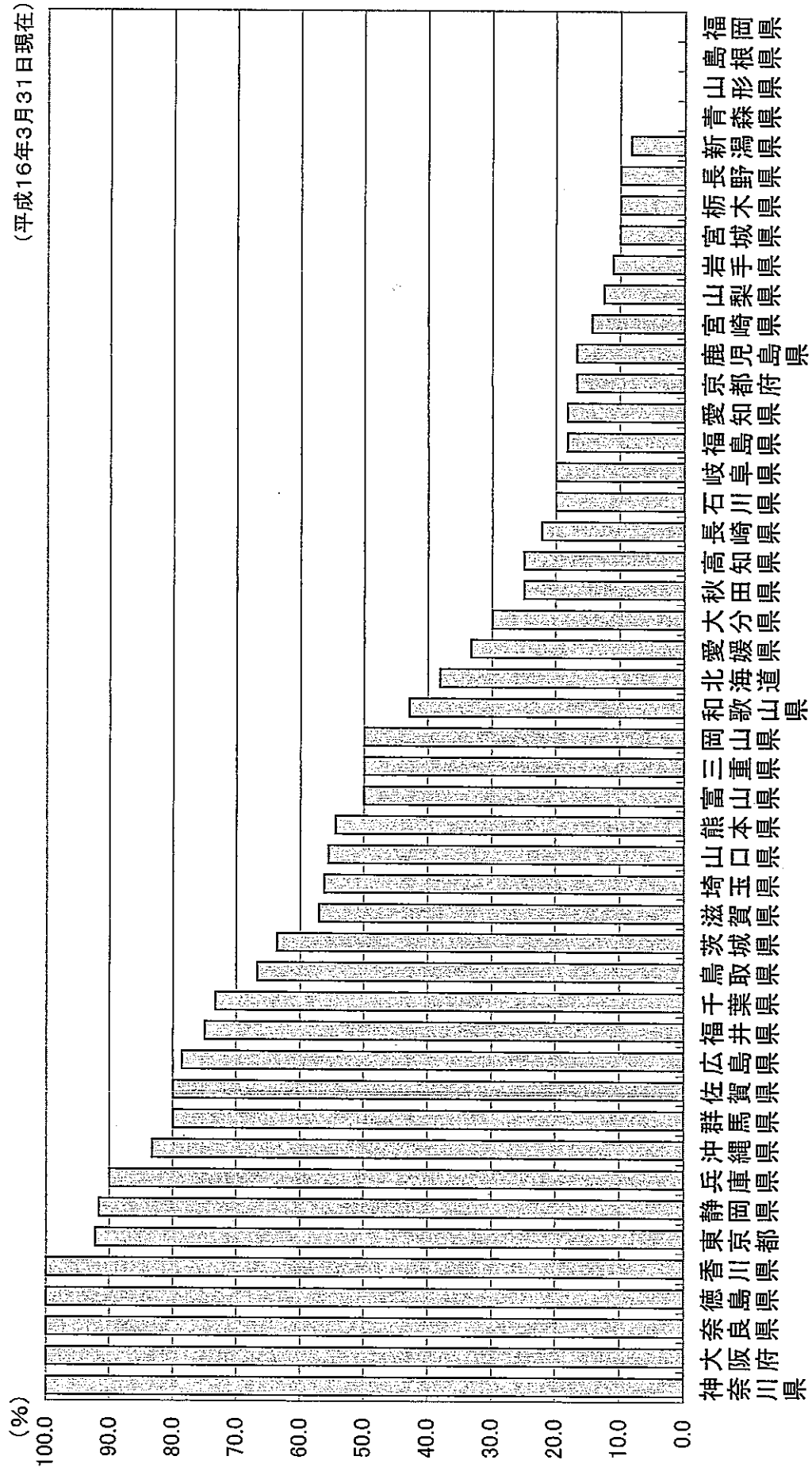
- ☆国が示す指標に基づいた質の高い保健医療提供体制の構築
- ☆指標に基づいた透明性の高い基準による各種支援（補助金・政策融資など）
- ☆政策評価による翌年度につながる行政施策の見直し

E県の保健医療提供体制に係る数値目標「小児救急を含む小児医療」

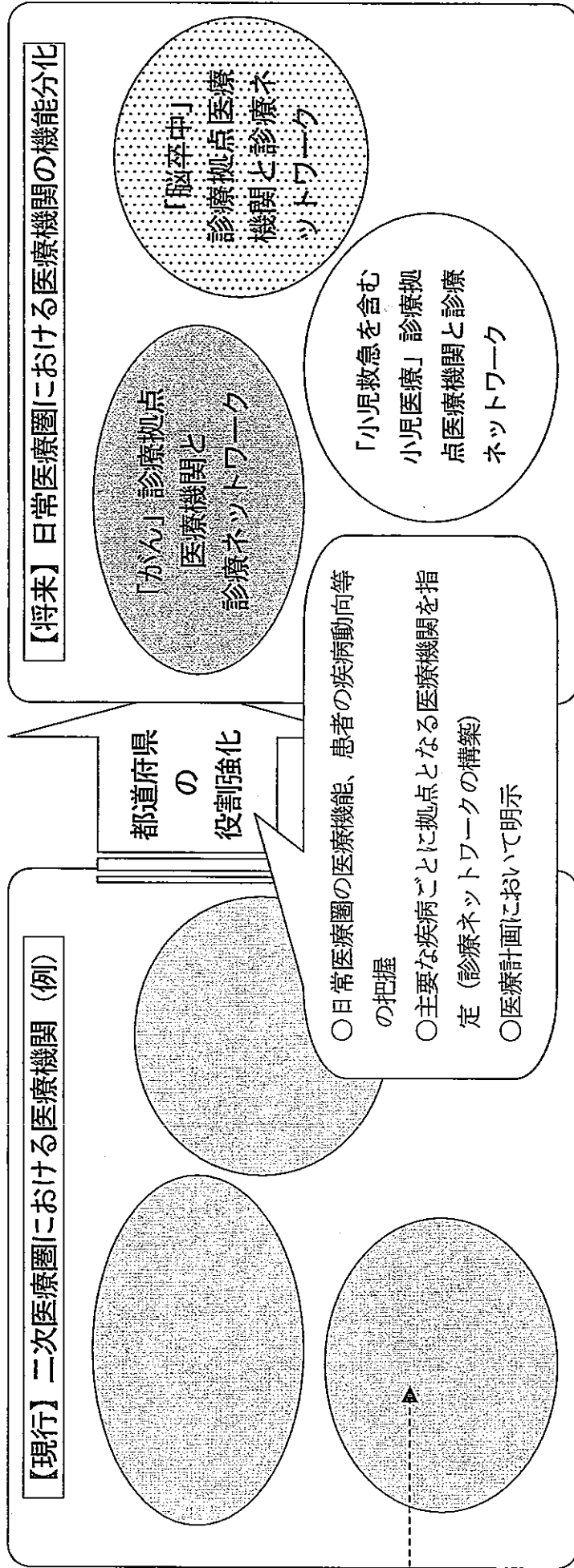
- ①すべての日常医療圏内に二次小児救急医療の拠点構築
- ②24時間いつでも初期救急医療を受診できる体制構築

各道府県の小児救急医療圏における二次小児救急医療体制の整備状況

(平成16年3月31日現在)



都道府県が構築する診療ネットワーク（イメージ）



【現行】二次医療圏における医療機関（例）

都道府県
の
役割強化

- 日常医療圏の医療機能、患者の疾病動向等の把握
- 主要な疾病ごとに拠点となる医療機関を指定（診療ネットワークの構築）
- 医療計画において明示

【将来】日常医療圏における医療機関の機能分化

- 「がん」診療拠点医療機関と診療ネットワーク
- 「脳卒中」診療拠点医療機関と診療ネットワーク
- 「小児救急を含む小児医療」診療拠点医療機関と診療ネットワーク

《現状の医療提供体制に係る課題》

- (1) 医療機関がそれぞれどのような医療機能を持っているのか住民・患者に分かりにくい。
- (2) 各医療機関がすべての疾病に対応した医療資源を有しなければならず、非効率。
- (3) 専門医が不足し、1人の医師にかかる労働の負荷が過大なものとなること。

『将来求められる保健医療提供体制の姿』

- (1) 医療計画において、主要な疾病ごとに医療機関が有する医療機能が一元的に分かる。
- (2) 各医療機関において重点的に強化すべき医療機能が明確になる。
- (3) 医療機関の専門性が高まり、専門医の獲得や医療の質の向上に寄与する。

